

令和元年5月15日現在

機関番号：12201

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2016～2018

課題番号：16K07889

研究課題名(和文) 日本の農産物・食品の海外新興市場開拓を実現するアグリビジネス教育プログラムの開発

研究課題名(英文) Developing of agribusiness education program for creating a new market of Japanese agriproducts and food

研究代表者

齋藤 潔 (SAITO, KIYOSHI)

宇都宮大学・農学部・教授

研究者番号：80202076

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,800,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、近年縮小傾向が顕著な日本の農産物市場の市場拡大を図るため、海外市場の開発に狙いを定めたアグリビジネスに関する教育プログラムを開発することを目的としている。本研究では海外事例をもとに現地調査を実施し、海外調査国においてどのように外国製品が市場を広げていったのかを把握するとともに、それをネスレモデルの視点から検討分析した。その結果、現在日本がとっている市場拡大戦略は、単品農産物・食品の市場獲得に偏向しており、これは現地マーケットへの利点は少なく、それが制約をなつて市場拡大が伸びていないことが判明した。市場拡大のためには、上級市場のみならず手頃な価格帯での普及戦略が求められる。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、日本農業が抱えている国内市場の縮小傾向に対して、海外市場の開発を行える教育プログラムを提供することにある。研究期間内にヨーロッパ諸国と国内現地調査を実施した。そのうえで海外市場開発を目的とした教育プログラムを開発した。このような農業における海外市場開発プログラムは我が国では貴重な教材を提供したことになる。加えて、海外研究者と共同で国際研究組織を立ち上げることができ、そこで検討された研究結果を国内外の場で報告することを今後の予定としている。また、研究結果の一部は、国際出版される予定であり、現在出版に向けた作業が進んでおり、2019年8月予定で出版されることが決定している。

研究成果の概要(英文)：This research aims to develop a new market of overseas markets for Japanese agriculture products and food. And for that purpose, I made an education program of agribusiness for developing new overseas markets through discussing this theme with overseas researchers. And I implemented some field surveys at European countries and Japan. The research concludes that Japanese strategies take aim to get the upper segment of the markets. That does not give an enough merit to the country. Based on the Nesle model, Japan needs to supply the products and food of popularized price to make the market not only the upper side but also the bottom side.

研究分野：農業経営学

キーワード：海外市場の開発 アグリビジネス

1. 研究開始当初の背景

日本の農産物市場は長期的に縮小傾向が続いている。市場の縮小は、そこを拠点としている農業経営にとって自由な活動空間の制約となって現れているように見える。このような状況を打開するため、日本各地で海外市場への輸出をもくろむ農業者が増えてきている。輸出金額も伸びてきてはいるが、現状の対応だけで市場開拓は可能なのだろうか。本研究は、海外輸出市場開拓の実情を探り、それを分析整理することによって、海外市場開拓の教育プログラムを作成することに主眼を設定した。

2. 研究の目的

本研究の目的は、海外新興市場を開拓する際のビジネスポイントを明確にし、それをアグリビジネス教育プログラムとして、プログラムと教材を開発することにある。本研究目的は、学術的な意味と実践的な応用課題を意識し、理論と実践の論理的なつながりを意識し、それを教育プログラムで統一することを目的としている。

3. 研究の方法

本研究は日本の農産物・食品の海外新興市場の開拓を研究上の実践目的と設定し、その接近方法として変貌著しいヨーロッパ諸国の市場特性を現地機関と協力ながら調査分析する。加えて日本国内の輸出農業者の経営事例を収集し、その経営分析を行う。それらの調査結果に基づいて海外新興市場を開拓するためのアグリビジネス教育プログラムおよび教材を開発する。開発した教育プログラム・教材の有効性を検証するため、輸出農業者を対象としたグローバルビジネス人材育成セミナーを開催し、教育プログラム、教材のブラッシュアップを図る。本研究は、通常の採択時期より6ヶ月遅れて採択が決定したため、研究初年度は年度途中からの開始となった。このため初年度は研究計画を練り直し、とくに海外新興市場を開拓する理論研究に焦点を当てた。取り上げたのは世界のフードビジネス業界で新たな市場開拓理論を提示しているネスレ社のケーススタディである。ネスレモデルは発展途上国などの新興市場に品質の高い商品と普及価格商品を同時に投入することでフードマーケットの全価格帯をカバーするとともに、幅広い消費者の支持を獲得する戦略をとっている。現状での日本の農産物輸出の取り組みでは高品質商品を新興市場に投入するという単純な戦略になっており、このような輸出スタイルではハイプロフィットマーケットへの敵対的侵入の形になってしまい、市場の信頼を損なう恐れもある。マーケティング開拓のスタイル点検を必要としている。このような視点から研究2年目にはイギリスにおいて多国籍の研究者とのディスカッションを行った。その議論を通して着実な研究成果がもたらされた。研究最終年の平成30年度では、研究成果をとりまとめて再度イギリスにおいて共同研究ディスカッションを実施する。加えて、国内農業の輸出事例の経営調査を継続して行い、海外調査の結果と対比させながら研究成果をまとめた。

本研究では、アメリカを中心とする海外研究者と共同で検討会を実施し、研究成果のブラッシュアップを図った。

4. 研究成果

本研究では、国内農業者の輸出戦略実態調査を行い、現状の日本農業の輸出能力について、考察を加えた。また、海外市場ではヨーロッパ各国の市場実態調査を、アメリカを中心とする海外研究者を共同で実施し、国際共同研究組織を立ち上げて、そこで分析検討を加えた。

このような研究目的、研究方法を実施した結果、本研究の成果として次のような結論を導いた。現状の日本農業の輸出戦略は、海外市場の上級市場の獲得という単純な利益ベースの取り組みにとどまっており、これが海外市場の立場からすると、市場のかく乱要因になって、相手国にとって、メリットをもたらす内容にはなっていない。日本の農産物は高級だということのみをセールスポイントとし、相手国の市場、消費者動向を把握せずに利益獲得思考による市場開拓を行うことは、いわば侵略的な要素が強く、それで海外市場がいたくがうまくできるとは考えられない。

輸出市場開拓の先駆的理論であるネスレモデル(図1、図2)をベースに考えると、海外市場開拓のポイントは、上級セグメントだけでなく、一般庶民が入手し易い価格帯での普及戦略が決定的に重要であることを示している。すなわち、海外市場を上級セグメントから開拓し、ハイブランド意識を醸成するとともに、普及価格帯セグメントの取り組みにより、市場の底辺の範囲を拡大することが重要となっているという新たな知見を導くことができた。

この知見に基づいて、それをアグリビジネス教育プログラムとして作成した。作成した内容は、教育プログラムとして、教育カリキュラムと教材の作成、それを国際研究組織で発表するとともに、分析を経て、ブラッシュアップした。

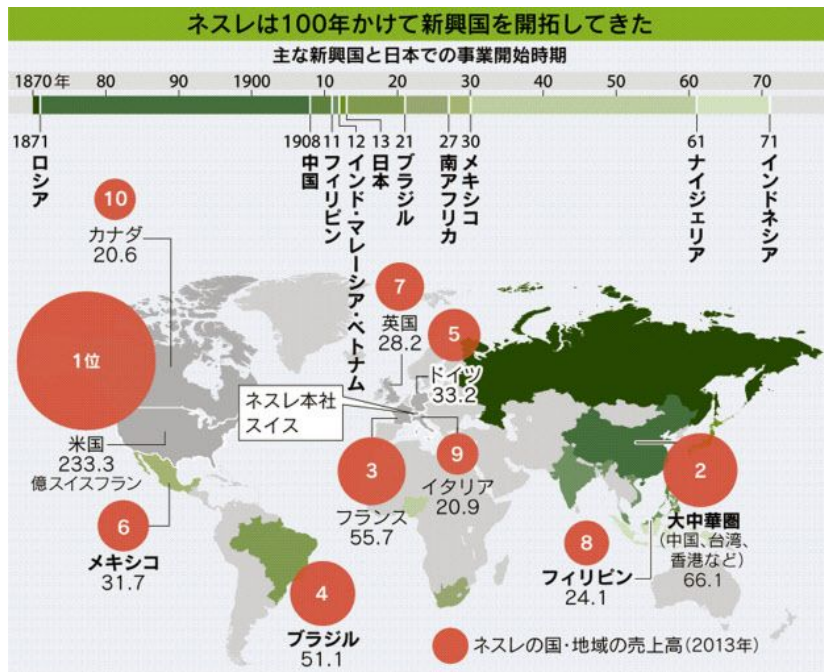


図1 海外新興市場を開拓するネスレモデルの実績

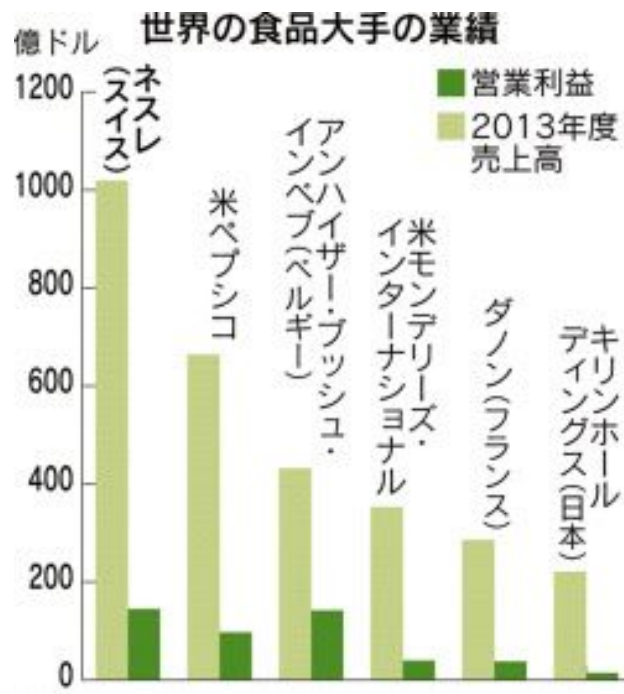


図2 ネスレモデルの業績図

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 2 件)

〔学会発表〕(計 1 件)

〔図書〕(計 1 件 原稿受理、出版印刷の校正中)

〔産業財産権〕

出願状況(計 件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年：

国内外の別：

取得状況(計 件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

取得年：

国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1)研究分担者

研究分担者氏名：

ローマ字氏名：

所属研究機関名：

部局名：

職名：

研究者番号(8桁)：

(2)研究協力者

研究協力者氏名：

ローマ字氏名：

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。